

事業計画書

自 令和 8 年 4 月 1 日

至 令和 9 年 3 月 31 日

基本的指針

当記念会は、平成25年4月1日公益財団法人への移行登記を完了し、令和8年度は公益財団法人としての第14期を迎えることとなる。

公益事業として川端康成の顕彰を行い、日本文学の振興・研究の推進に努める。

令和8年度は、前年の事業を継続しつつ、一層の情報収集、協議検討を行い充実発展させるべく次の通り計画する。

公益事業1.川端康成文学の顕彰を目的とする事業

1.川端康成文学賞

平成30年6月の第2期19回（通算第44回）選出後休止したが、新潮社の協力を得て令和3年に再開し、令和8年度は通算第50回目となる。

受賞作品は『新潮』6月号に選評と共に公表される。

第50回受賞作品については、令和8年度提出予定の「事業報告書」で明らかにする。

2. 記念館等の維持管理を目的とする事業

公益財団法人としての趣旨に鑑み、主に市民を対象とした事業として、川端康成記念会の庭園の公開を平成25年よりおこなっている。令和8年も昨年と同様に11月の週末に行う予定である。

鎌倉市初の名誉市民である川端康成の文学の理解を深める目的で、公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団の協力を得て、鎌倉芸術館の鎌倉学シリーズとして開催する。説明・見学は庭園で行うが、外から旧邸の様子が見学できるよう維持補修に務めている。

その他、記念会施設の保守管理及び庭園の整備は日々点検等を行い、災害や害獣対策も行っていく。

3. 川端康成の遺品、美術品、愛蔵品の公開並びに展示貸出を目的とする事業

(1) 資料の整理、保存、調査

令和3年から行って作成した資料リストを土台とし、更に充実した資料の詳しい調査と整理を進めて行く。

(2) 出品等貸出協力

① 公益財団法人日本近代文学館 川端康成記念室特別展示

春季展（令和8年4月4日～6月13日）

「川端康成の新聞小説」

秋季展（予定）

「川端康成と「文芸時代」の人びと」

その他、文学館・美術館からの貸出依頼に適宜対応予定